

平成 29 年 5 月 24 日

各 位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

社長による「イクボス宣言」について

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社は、働き方改革「スマートチャレンジ 10」やダイバーシティ推進の取組みを、より一層加速させるため、取締役社長の長岡孝が「イクボス宣言」をいたしましたので、お知らせいたします。

1. イクボス宣言内容

(1) 第1条 対社員

全社員が持てる力を最大限発揮できるよう、現場の意見を大切にし、働きがいのある環境を作ります

(2) 第2条 自らの働き方

自分が社員の効率的な働き方の妨げになっていないか、常に意識します

(3) 第3条 生産性向上

生産性を高めるために知恵を絞り、工夫を重ね、成果を出した部室店をしっかりと見極め、評価します

2. 宣言日

平成 29 年 5 月 24 日(水)



(宣言書を手にする社長の長岡)



(宣言書)

3. イクボス活動について

当社は、平成 28 年 12 月 27 日に NPO フェザーリング・ジャパンが運営する「イクボス企業同盟」に加盟し、イクボス活動を推進してまいりました。この度、厚生労働省「日本総イクボス宣言プロジェクト」の趣旨に賛同し、本プロジェクトにおいて、証券会社として初の宣言をいたしました。

社長のイクボス宣言を機に、本日から全管理職を対象としたイクボス研修を開始します。また、今後はイクボス宣言を広く募集し、管理職が具体的な活動を実践する改革を進めていきます。

当社では、男性社員の育児休業取得を推奨しており、昨年度実績は41.2%で、政府目標の13%(2020年)を大幅に上回りました。今年度は目標を100%に引き上げ、達成にむけて順調に取得が進んでいます。また、年次有給休暇取得率も昨年度50%を達成したため、今年度は目標を60%に引き上げ、2020年度には政府目標の70%を達成する計画です。

イクボス活動の進化により、社員一人ひとりが仕事と生活の両立を図りながら、組織として高い成果を上げられるよう、働きがいのある職場環境づくりに取り組んでまいります。

【ご参考】

◆ イクボスについて（当社定義）

「イクボスのイクは育成のイク 部下を育て、自分を育て、職場を育てる、それができるボス(上司)」
職場で共に働く部下を育て、働きがいを高め、部下のキャリアと人生を応援しながら
組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と生活を楽しむことができる、
生産性の高い職場を実現できる上司



以 上